

概要版

令和2年度  
包括外部監査の結果報告書

都市戦略部が所管する事業における財務事務の執行等について

令和3年3月

福井市包括外部監査人

藤井 宏澄

## 目次

第1章 包括外部監査の概要 .....	1
1. 監査の種類.....	1
2. 選定した特定の事件（テーマ） .....	1
3. 事件（テーマ）を選定した理由.....	1
4. 監査の着眼点 .....	1
5. 監査対象年度 .....	2
6. 監査対象所属 .....	2
7. 監査の実施期間.....	2
8. 包括外部監査人の補助者 .....	2
9. 利害関係 .....	2
10. その他 .....	2
第2章 監査対象の概要.....	3
1. 都市戦略部の概要.....	3
2. 第七次福井市総合計画の内容と都市戦略部の事業との関連 .....	6
3. 都市戦略部が所管する事業と総合計画での位置づけ .....	11
第3章 包括外部監査の主要な意見 .....	15
1. 部局マネジメント方針.....	15
2. 事業毎の数値目標の設定 .....	23
3. 計画と実績（成果）の管理 .....	29
4. 予算がない事業の管理.....	30
5. 財政再建と必要な歳出.....	31
6. 前金払方式における履行確認（検収） .....	34
7. 入手する請求書への押印について .....	35
8. 検証対象とした都市戦略部の事業に対する指摘事項及び意見について .....	35

## 第1章 包括外部監査の概要

### 1. 監査の種類

地方自治法第252条の37第1項に基づく包括外部監査である。

### 2. 選定した特定の事件（テーマ）

都市戦略部が所管する事業における財務事務の執行等について

### 3. 事件（テーマ）を選定した理由

令和5年春※に予定されている北陸新幹線の福井開業を控え、福井市民にとって、福井駅周辺の再開発やまちづくりに対する関心は高い。福井市では、平成22年に目標年次を令和12年（計画より20年後）とする長期計画「【改訂】福井市都市計画マスタープラン」を策定し、都市づくりの総合的な指針を策定している。

また、「第七次福井市総合計画」（計画期間：平成29年度～令和3年度）では、「I 快適に暮らすまち」の実現を目指して、「1 まちなかの充実した都市機能により多彩な人が集まるまちをつくる」、「2 地域の特色を生かし魅力的で活力のあるまちをつくる」を政策に掲げている。この総合計画を推進するための取り組みの一つとして、「市民ニーズを捉えた満足度の高い行政サービスを提供する」を掲げ、各種統計調査の活用やオープンデータの充実・提供を行っている。

以上より、都市計画、まちづくりと情報統計を所管している都市戦略部の実施事業について検証することは、住民の福祉の向上、福井市の行政の効果的、効率的な行財政運営にも資するものと判断し、本テーマを選定した。

※ 令和2年5月に実施したテーマ選定時

### 4. 監査の着眼点

都市戦略部が所管する事業における財務事務の執行について、法令等に準拠した上で効果的、効率的かつ経済的に実施されているかを検討する。また、実施事業が長期計画である「【改訂】福井市都市計画マスタープラン」や「第七次福井市総合計画」に従い適切に実施されているかを併せて検討する。具体的な着眼点は以下のとおりである。

#### （1）福井市総合計画等との整合性

・検証対象とした各事業について、福井市総合計画での位置づけを確認するとともに、事業の内容や目標が総合計画等など福井市の方針と整合しているか

#### （2）3Eの観点

・各事業について、経済性、効率性、有効性の観点から適切に実施されているか

### (3) 合规性

- ・法令、規則、会計事務の手引き等の内規に沿って、適切に手続きが実施されているか

### (4) 成果の把握と PDCA

- ・各事業について事業目標が設定されているか
- ・事業目標は総合計画と整合しているか

## 5. 監査対象年度

令和元年度（必要に応じその他の年度も対象とした。）

## 6. 監査対象所属

都市戦略部

## 7. 監査の実施期間

令和2年6月1日から令和3年3月31日

## 8. 包括外部監査人の補助者

武田 敦（公認会計士）、斎藤 栄慶（公認会計士）、高島 悠輝（公認会計士）  
木野 仁彦（公認会計士）、木綿 小矢佳（事務補助者）

## 9. 利害関係

包括外部監査の対象とした事件につき、包括外部監査人と福井市との間には、地方自治法第252条の29の規定により記載すべき利害関係はない。

## 10. その他

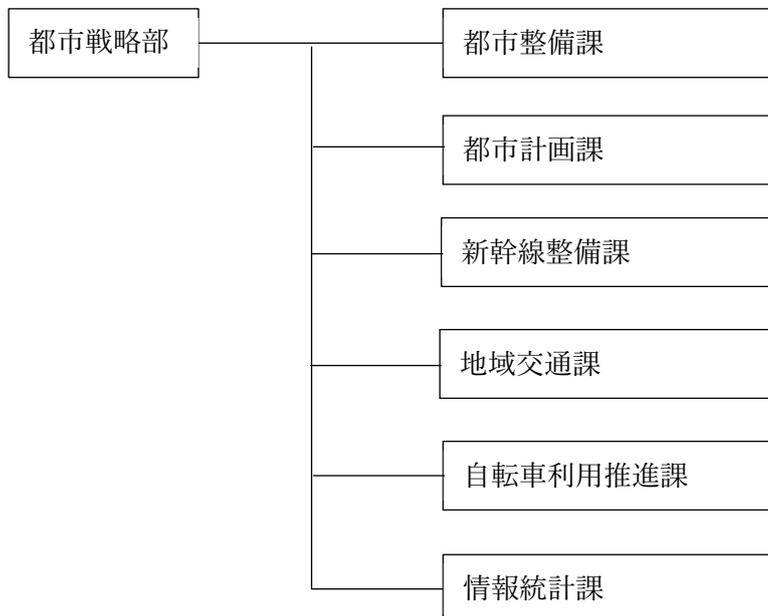
### (1) 用語について

- ①指摘事項：法令や規則に対する逸脱事項（軽微なものを除く）や重大な不効率、不経済な事象に対する外部監査人の意見である。
- ②意見：指摘事項とはならない法令や規則に対する軽微な逸脱事項や軽微な不効率、不経済な事象に対する外部監査人の意見もしくは提案や所感である。
- ③3E：Economy（経済性）、Efficiency（効率性）、Effectiveness（有効性）を示した用語であり、包括外部監査において最も重視している視点である。

(2) 金額については、千円未満については原則切り捨てとしている。しかし、一部福井市が作成した資料をそのまま利用しているため、その他の方法となっている箇所もあるが重要性はないと判断し修正は行っていない。そのため、合計金額が一致しない場合がある。

## 第2章 監査対象の概要

### 1. 都市戦略部の概要



#### (1) 都市整備課

##### ①職員数（令和2年3月31日現在）

18名

##### ②令和元年度歳入歳出決算額

（単位：千円）

	現年※	繰越※	合計
歳入決算額	32,714	222,003	254,717
歳出決算額	196,252	294,772	491,024

※ 現年とは令和元年度予算で令和元年度に歳入、歳出があった金額。繰越とは平成30年度以前の子算で令和元年度に歳入、歳出があった金額。以下同じ。なお、第4章各論では現年、繰越を分けずに合計金額で記載している。

##### ③所管する業務（福井市ホームページ（以下福井市HP）より）

人口減少や少子高齢化社会、環境問題等に対応するため、車に過度に依存した広がりすぎたまちから、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進します。また、県都の顔である福井駅周辺をより楽しく、より魅力的にするために『再開発事業』や『優良建築物等整備事業』のお手伝いをします。

さらに、福井らしい良好な景観を形成し、誇りをもって、いつまでも住み続けたいと思えるようなまちづくりを支援しています。

(2) 都市計画課

①職員数 (令和2年3月31日現在)

14名 (うち育休代替1名)

②令和元年度歳入歳出決算額

(単位：千円)

	現年	繰越	合計
歳入決算額	192,478	125,100	317,578
歳出決算額	193,421	136,899	330,320

③所管する業務 (福井市 HP より)

「まち」を快適で魅力あるものにするため、土地の利用や建物の建て方のルール、道路・公園などの計画を定めています。また都市計画道路の整備や、大規模な土地取引の届出の受理、地価に関する情報の提供も行っています。

(3) 新幹線整備課

①職員数 (令和2年3月31日現在)

10名

②令和元年度歳入歳出決算額

(単位：千円)

	現年	繰越	合計
歳入決算額	111,692	111,493	223,185
歳出決算額	78,830	119,530	198,361

③所管する業務 (福井市 HP より)

北陸新幹線の早期開業に向けた取組みを行っています。  
北陸新幹線開業に伴う並行在来線開業に向けた取組みを行っています。  
福井駅西口広場、自由通路の維持管理を行っています。

(4) 地域交通課

①職員数 (令和2年3月31日現在)

12名 (ほか嘱託職員1名)

②令和元年度歳入歳出決算額

一般会計

(単位：千円)

	現年	繰越	合計
歳入決算額※	36,415	400	36,815

歳出決算額※	444,788	712	445,500
--------	---------	-----	---------

※ 令和2年度より自転車利用推進課へ所管替えがあった交通安全関係の歳入、歳出については、自転車利用推進課で検証を実施しているため決算額から除いている。

駐車場特別会計

(単位：千円)

	現年	繰越	合計
歳入決算額	56,305	—	56,305
歳出決算額	47,835	—	47,835

③所管する業務（福井市 HP より）

公共交通に係る企画・調整、公共交通の維持、活性化及び利用促進に関する業務を所管します。  
 駐車場法の施行に関する業務を所管します。

(5) 自転車利用推進課

①職員数（令和2年3月31日現在）

6名

②令和元年度歳入歳出決算額

(単位：千円)

	現年	繰越	合計
歳入決算額※	5,036	—	5,036
歳出決算額※	45,340	—	45,340

※ 令和2年度より地域交通課から所管替えがあった交通安全関係の歳入、歳出については、自転車利用推進課で検証を実施しているため決算額に含めている。

③所管する業務（福井市 HP より）

人やまちにやさしい自転車利用の推進を図るため、自転車利用環境整備計画を策定し、自転車を快適に利用できる環境の整備に取り組みます。  
 また、自転車駐車場施設の維持管理、放置自転車対策に関する業務も所管しています。

(6) 情報統計課

①職員数（令和2年3月31日現在）

18名（うち再任用1名）

②令和元年度歳入歳出決算額

(単位：千円)

	現年	繰越	合計
歳入決算額	90,184	—	90,184

歳出決算額	826,263	3,831	830,095
-------	---------	-------	---------

③所管する業務（福井市 HP より）

<p>市役所で行う、手続きに関するコンピュータシステムの運用管理  市役所を運営するための業務に関するコンピュータシステムの開発及び運用管理  福井市が情報化の進んだまちとなるような施策の企画及び運営  国・県・市の施策立案の参考となる、統計調査の実施</p>
--

2. 第七次福井市総合計画の内容と都市戦略部の事業との関連

(1) 第七次福井市総合計画の概要

【期間】平成 29 年度から令和 3 年度

社会情勢の変化に弾力的に対応できるよう、計画期間を 5 年としている。

【構成】「将来都市像」、「重点方針」、「政策、施策」で構成している。

総 合 計 画	
将来都市像	長期的な取組により実現を目指す、福井市の将来のまちの姿。 →「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」
重点方針	将来都市像の実現を図るための、重点的な方針。 →「豊かな地域づくり」、「輝く未来への挑戦」
政策	基本的な取組の方向性
施策	政策をより具体的に表した取組内容。
実施計画※	総合計画に示された体系に基づき実施する、具体的な事業計画 →実施計画において主要な事業が示されている。

※ 正式には「第七次福井市総合計画実施計画」であるが、本報告書では実施計画とする。

(2) 都市戦略部が関連する政策、施策の体系図

I 快適に暮らすまち	
政策 1	まちなかの充実した都市機能により多様な人が集まるまちをつくる
施策 1	まちなかの資源を活かした魅力と風格ある県都の顔をつくる
施策 2	にぎわいのある空間を創出しまちなかの活性化を図る
施策 3	北陸新幹線の整備を進める

政策2 地域の特色を活かし魅力的で活力のあるまちをつくる	
施策1	地域の特色と資源を活かした個性豊かな地域をつくる
施策2	地域の生活を支える利便性の高い交通システムを構築する
II 住みよいまち	
政策6 環境にやさしい持続可能なまちをつくる	
施策2	環境負荷低減の取組を推進する
政策7 災害・事故に強い安全・安心なまちをつくる	
施策5	交通安全対策を推進する
IV 学び成長するまち	
政策12 健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる	
施策4	学びの場としての学校環境を整備する
総合計画を推進するために	
取組2	市民ニーズを捉えた満足度の高い行政サービスを提供する
取組3	効率的で持続可能な行財政運営を行う

(3) 都市戦略部が関連する政策、施策の実施計画と目標値

I 快適に暮らすまち	
政策1 まちなかの充実した都市機能により多様な人が集まるまちをつくる	

施策1 まちなかの資源を活かした魅力と風格ある県都の顔をつくる	
予算金額	6,878,115 千円
1 市民が利用しやすい空間の形成 [都市整備室 (現所属 都市整備課)、おもてなし観光推進課、自然史博物館、公園課]	
足羽山魅力向上事業 該当する事業なし	
中央公園周辺再整備事業 平成30年度完了済み	
数値	足羽山公園遊園地の入園者数 12万人→14万人 (令和3年度)
目標	中央公園で行われるイベント数 3回→7回 (令和3年度)
2 魅力的な都市基盤の整備 [都市整備室 (現所属 都市整備課)、都市計画課]	
民間活力を活かした県都の顔づくり事業 1-5. 民間活力をいかした県都の顔づくり事業	
福井城址周辺整備事業 1-16. 福井城址周辺整備事業	
県都デザイン戦略推進 ゼロ予算のため対象外	
フェニックス通り環境整備事業 2-12. 県営街路事業負担金	
数値	民間活力を活かした県都の顔づくり事業による補助件数 3件→33件 (令和3年)
目標	

3 福井駅周辺の整備 [駅周辺整備課 (現所属 都市計画課)、地域交通課]		
福井駅付近連続立体交差事業 (令和元年度より都市計画課所管)		2-9. 福井駅付近連続立体交差事業負担金
西開発周辺道路整備事業 (令和元年度より都市計画課所管)		2-10. 福井駅付近連続立体交差関連事業
福井駅周辺土地地区画整理事業		平成30年度で終了
数値 目標	福井駅周辺土地地区画整理事業進捗率	91.5%→100% (平成30年度)
4 民間主体のまちづくり支援 [都市整備室 (現所属 都市整備課)]		
市街地再開発事業等支援事業		1-10. 市街地再開発事業等支援事業
数値 目標	民間主体によるまちづくりへの補助件数 (平成24年度からの累計)	1件→3件 (令和3年度)

施策2 にぎわいのある空間を創出しまちなかの活性化を図る		
予算金額		1,803,153 千円
1 まちなかのにぎわい創出 [都市整備室 (現所属 都市整備課)、商工振興課]		
にぎわい交流施設管理運営事業		1-11. ハピリン管理運営事業
まちなか賑わい創出事業		商工振興課のため対象外
民間によるまちなか活性化活動支援事業		商工振興課のため対象外
コミュニティバス事業		商工振興課のため対象外
数値 目標	ハピリン入込客数	ゼロ人→200万人 (令和3年度)
2 まちなかの出店・開業支援 [商工振興課] →対象外		
3 まちなかの居住環境整備 [住宅政策課] →対象外		
4 まちなかの交通アクセス向上 [地域交通課、自転車利用推進課]		
地方バス路線等運行維持事業		4-9. 地方バス路線等運行維持事業
まちなかレンタサイクル事業		5-4. 自転車利用推進事業
数値 目標	福井駅発着のバスにおける一人当たりの利用回数	17.28回→17.45回 (令和3年度)

施策3 北陸新幹線の整備を進める		
予算金額		3,293,468 千円
1 北陸新幹線の早期開業促進 [新幹線推進室 (現所属 新幹線整備課)]		
北陸新幹線建設整備事業		3-4. 北陸新幹線建設促進事業 3-5. 北陸新幹線建設整備事業

数値 目標	なし	
2 並行在来線の開業準備 [新幹線推進室 (現所属 新幹線整備課)]		
並行在来線開業準備事業		3-3. 並行在来線開業準備事業
数値 目標	並行在来線の令和4年度開業準備	並行在来線の令和4年度開業準備

政策2 地域の特徴を活かし魅力的で活力のあるまちをつくる

施策1 地域の特徴と資源を活かした個性豊かな地域をつくる		
予算金額		618,095 千円
1 日常生活機能が集約した地域拠点づくりの促進 [都市計画課、地域交通課、地域包括ケア推進課]		
都市計画マスタープラン推進事業		令和元年度はゼロ予算のため対象外
都市計画道路整備事業		2-13. 都市計画道路整備事業
えちぜん鉄道施設改善事業		平成29年度で終了
多機能よろず茶屋設置事業		地域包括ケア推進課のため対象外
数値 目標	多機能よろず茶屋で生活支援に取り組むボランティア数 (累計)	ゼロ人→51人 (令和3年度)
2 地域の景観形成 [都市整備室 (現所属 都市整備課)]		
景観推進事業		1-1. 景観推進事業
景観支援事業		1-4. 景観支援事業
数値 目標	特定景観計画区域の地区 (ゾーン) の指定数 (平成4年からの累計)	6ゾーン→9ゾーン (令和3年度)
3 移住定住の促進 [東京事務所、まち未来創造室、住宅政策課] →対象外		
4 里地・里山・里海の活性化 [農政企画室] →対象外		

施策2 地域の生活を支える利便性の高い交通システムを構築する		
予算金額		1,161,531 千円
1 地域の交通システム構築 [地域交通課]		
地域コミュニティバス運行支援事業、地域バス整備事業		4-10. 地域バス整備事業 4-11. 地域コミュニティバス運行支援事業
バス利用促進事業		4-13. バス待ち環境整備事業
えちぜん鉄道支援事業		2 まちなかと地域を結ぶ交通の円滑化に記載
福井鉄道支援事業		

数値 目標	地域バス運行地区住民一人当たり の地域バス利用回数	1.18回→1.19回（令和3年度）
2 まちなかと地域を結ぶ交通の円滑化〔新幹線推進室（現所属 新幹線整備課）、地域交通課〕		
えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗入関連施設 整備事業		平成29年度に完了
えちぜん鉄道支援事業		4-14. えちぜん鉄道支援事業
福井鉄道支援事業		4-15. 福井鉄道支援事業
数値 目標	えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数	544万人→563万人（令和3年度）

政策6 環境にやさしい持続可能なまちをつくる

施策2 環境負荷低減の取組を推進する		
予算金額		7,448,071千円
1 環境負荷低減の取組を推進する〔自転車利用推進課、環境課〕		
サイクルアンドライド推進事業		5-3. 駐輪場維持管理事業
低炭素まちづくり事業		環境課のため対象外
数値 目標	温室効果ガス排出量（CO <sub>2</sub> ）	2,368千t→2,130千t（令和3年度）

政策7 災害・事故に強い安全・安心なまちをつくる

施策5 交通安全対策を推進する		
予算金額		150,907千円
1 交通安全の指導・啓発〔地域交通課（現所属 自転車利用推進課）〕		
交通安全普及啓発事業 （令和2年度より自転車利用推進課）		5-5. 交通安全教育推進事業 5-6. 交通安全普及啓発事業
数値 目標	高齢者運転免許証自主返納者数	377人→680人（令和3年度）

政策12 健やかで自立心をもった感性豊かな子供を育むまちをつくる

施策4 学びの場としての学校環境を整備する		
予算金額		2,978,639千円

1 学校環境の整備・維持管理 [教育総務課、学校教育課] →対象外		
2 通学環境の整備 [自転車利用推進課、保健給食課]		
自転車走行空間整備事業		令和元年度はゼロ予算のため対象外
通学路環境整備事業		保健給食課のため対象外
数値 目標	通学路照明等の設置率	88.0%→100% (令和3年度)

総合計画を推進するために

注：「総合計画を推進するために」については、実施計画において予算金額の記載がなく、担当課や具体的な事業の記載、目標値の記載などもないため、考えられる事業を包括外部監査人が割り当てている。

取組2 市民ニーズを捉えた満足度の高い行政サービスを提供する		
4	統計調査の充実・活用	6-9. 調査員確保事業

取組3 効率的で持続可能な行財政運営を行う		
1	効率的で効果的な行政運営	6-6. 総合行政情報システム事業

### 3. 都市戦略部が所管する事業と総合計画での位置づけ

#### (1) 都市整備課

事業 No	事業名	総合計画での位置づけ
1-1	景観推進事業	政策：2、施策：1
1-2	景観事務諸経費	政策：2、施策：1
1-3	彫刻維持管理事業	政策：2、施策：1
1-4	景観支援事業	政策：2、施策：1
1-5	民間活力をいかした県都の顔づくり事業	政策：1、施策：1
1-6	都市整備室事務諸経費	政策：1、施策：1
1-7	福井まちなか地区都市再生整備計画推進事業	政策：1、施策：1
1-8	市街地再開発推進事業	政策：1、施策：1
1-9	中心市街地まちづくり推進事業	政策：1、施策：1
1-10	市街地再開発事業等支援事業	政策：1、施策：1
1-11	ハピリン管理運営事業	政策：1、施策：2
1-12	ハピリンステップアップ事業	政策：1、施策：2
1-13	高架下利活用事業	政策：1、施策：1
1-14	高架下公衆トイレ管理事業	政策：1、施策：1

1-15	中心市街地活性化推進事業	政策：1、施策：2
1-16	福井城址周辺整備事業	政策：1、施策：1
1-17	中心市街地活性化活動促進事業	政策：1、施策：2

(2) 都市計画課

事業 No	事業名	総合計画での位置づけ
2-1	都市計画企画事務諸経費	政策：2、施策：1
2-2	都市計画決定事務諸経費	政策：2、施策：1
2-3	土地利用適正化事業	政策：2、施策：1
2-4	都市計画市民参画推進事業	政策：2、施策：1
2-5	都市計画情報発信事業	政策：2、施策：1
2-6	都市防災推進事業	政策：2、施策：1
2-7	開発行為許可事務経費	政策：2、施策：1
2-8	土地利用規制対策事業	政策：2、施策：1
2-9	福井駅付近連続立体交差事業負担金	政策：1、施策：1
2-10	福井駅付近連続立体交差関連事業	政策：1、施策：1
2-11	(都) 福井縦貫線等代替用地管理費	政策：2、施策：1
2-12	県営街路事業負担金	政策：1、施策：1
2-13	都市計画道路整備事業	政策：2、施策：1

(3) 新幹線整備課

事業 No	事業名	総合計画での位置づけ
3-1	福井駅周辺道路管理費	政策：1、施策：1
3-2	福井駅前広場管理費	政策：1、施策：1
3-3	並行在来線開業準備事業	政策：1、施策：3
3-4	北陸新幹線建設促進事業	政策：1、施策：3
3-5	北陸新幹線建設整備事業	政策：1、施策：3

(4) 地域交通課

事業 No	事業名	総合計画での位置づけ
4-1	ファシリティマネジメント推進事業	政策：1、施策：2
4-2	福井駅周辺道路管理費	政策：1、施策：1
4-3	地域生活交通活性化会議運営事業	政策：2、施策：2
4-4	公共交通機関活性化事業	政策：2、施策：2
4-5	福井市鉄道駅対策協議会負担金	政策：2、施策：2
4-6	福井鉄道関係協議会等支援事業	政策：2、施策：2

4-7	えちぜん鉄道活性化連携協議会運営事業	政策：2、施策：2
4-8	交通活用中心市街地活性化事業	政策：2、施策：2
4-9	地方バス路線等運行維持事業	政策：1、施策：2
4-10	地域バス整備事業	政策：2、施策：2
4-11	地域コミュニティバス運行支援事業	政策：2、施策：2
4-12	自治会等輸送活動事業	政策：2、施策：2
4-13	バス待ち環境整備事業	政策：2、施策：2
4-14	えちぜん鉄道支援事業	政策：2、施策：2
4-15	福井鉄道支援事業	政策：2、施策：2
4-16	田原町駅活性化事業	政策：2、施策：2
4-17	えちぜん鉄道高架化支援事業	政策：1、施策：2
4-18	福井市都市交通戦略策定事業	政策：2、施策：2
4-19	駐車場特別会計	政策：1、施策：2

(5) 自転車利用推進課

事業 No	事業名	総合計画での位置づけ
5-1	総合交通事務諸経費	政策：7、施策：5
5-2	放置自転車対策事業	政策：7、施策：5
5-3	駐輪場維持管理事業	政策：6、施策：2
5-4	自転車利用推進事業	政策：1、施策：2
5-5	交通安全教育推進事業	政策：7、施策：5
5-6	交通安全普及啓発事業	政策：7、施策：5
5-7	総合交通事務諸経費	政策：7、施策：5

(6) 情報統計課

事業 No	事業名	総合計画での位置づけ
6-1	情報システム事業	※、取組：2
6-2	情報機器整備事業	※、取組：3
6-3	庁内LAN伝送路整備事業	※、取組：2
6-4	地理情報システム整備事業	※、取組：2
6-5	電子自治体推進事業	※、取組：2
6-6	総合行政情報システム事業	※、取組：3
6-7	地域情報通信基盤整備事業	※、取組：2
6-8	産学官連携研究事業	※、取組：2
6-9	調査員確保事業	※、取組：2
6-10	調査員組織化支援事業	※、取組：2

6-1-1	経済産業省所管調査事業	※ 、取組：2
6-1-2	総務省所管調査事業	※ 、取組：2
6-1-3	その他統計調査事業	※ 、取組：2
6-1-4	マイナンバーカード活用消費活性化事業	※ 、取組：2

※ 総合計画での位置づけは「総合計画を推進するために」となっている。また、施策ではなく、「取組」となっている。

全ての事業において、総合計画の政策、取組と関連付けが出来ており、各事業は総合計画を実行に移すために実施されていることがわかる。

### 第3章 包括外部監査の主要な意見

#### 1. 部局マネジメント方針

##### (1) 定義

部局マネジメント方針について、以下のとおり定められている（福井市 HP より）。

市役所の責任ある立場の部局長等が、市長との政策協議を経て、1年間の仕事の目標や課題への対応方針を明らかにしたもので、部局の基本方針、組織目標、行動目標で構成されています。

基本方針は各部局の方針・方向性を示したもので、組織目標はその基本方針を達成するために実現すべきこと、行動目標は組織目標を実現するための事業等です。

進行管理については各部局で行い、年度の終了後には、その達成度を公表します。

部局マネジメント方針は単年度ごとに定められた目標であり、福井市全体の管理マネジメントシステムの中では総合計画を年度ごとに区分したものと見える。

##### (2) 都市戦略部の部局マネジメント方針成果

都市戦略部における令和元年度の部局マネジメント方針の部局達成度は以下のとおりである。なお、達成度は行動目標毎に測定されている。

快晴	晴れ	くもり	雨
—	15	—	5

注：達成度については以下のとおりである（福井市 HP より）

達成度は、その達成状況をわかりやすくするため「快晴」「晴れ」「くもり」「雨」の4種類の記号にしています。

- ・「快晴」は、指標を達成したもののうち、特に成果があったものです。
- ・「晴れ」は、期限内に指標を達成したものです。
- ・「くもり」は、設定期限内未達成でしたが、年度内に達成したものです。
- ・「雨」は、今年度達成できなかったものです。

#### 目標の設定状況

行動目標	達成度	目標数 (うち数値)	目標達成数 (うち数値)
1 民間主体のまちづくりへの支援	晴れ	3 (3)	3 (3)
2 中心市街地の賑わい創出	雨	4 (4)	1 (1)
3 新たなまちの魅力と回遊性の向上	晴れ	3 (-)	3 (-)
4 県都にふさわしい良好な景観形成	雨	3 (2)	2 (1)
5 適正な土地利用の推進	晴れ	2 (-)	2 (-)
6 街路整備の推進	晴れ	2 (2)	2 (2)

7 地域鉄道の利用促進と利便性の向上	雨	1 (1)	- (-)
8 バス路線の維持と地域実情に応じたバス交通サービスの確保	雨	1 (1)	- (-)
9 連携中枢都市圏における広域的交通ネットワークの構築と公共交通利用促進	晴れ	1 (-)	1 (-)
10 市営駐車場の適正な運営	雨	1 (1)	- (-)
11 交通安全対策の推進	晴れ	1 (1)	1 (1)
12 高齢者の交通事故縮減	晴れ	1 (1)	1 (1)
13 北陸新幹線の建設促進	晴れ	1 (-)	1 (-)
14 並行在来線開業準備	晴れ	2 (-)	2 (-)
15 自転車の利用促進と利便性の向上	晴れ	2 (2)	2 (2)
16 分散型自転車駐車場整備の推進	晴れ	1 (1)	1 (1)
17 統計調査等の分析	晴れ	3 (3)	3 (3)
18 オープンデータの充実・提供	晴れ	1 (1)	1 (1)
19 Access 等を活用した業務効率化の推進	晴れ	2 (2)	2 (2)
20 公共工事の品質確保	晴れ	1 (1)	1 (1)
合計		36 (26)	29 (19)

注：「うち数値」としたものは、目標のうち「件数」や「率」など数値目標である目標の数をうち書きしたものである。なお、「〇月に実施」など事業の実施時期を目標としたものは数値目標には含んでいない。

### (3) 行動目標と事業の状況

#### 1 民間主体のまちづくりへの支援（達成度：晴れ）

関連する事業	1-8. 市街地再開発推進事業 1-9. 中心市街地まちづくり推進事業 1-10. 市街地再開発事業等支援事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	民間主体によるまちづくりへの支援	活動目標	3件	3件
	優良建築物等整備への支援	活動目標	1件	1件
	再開発事業等連絡調整会議の開催	活動目標	2回	2回

#### 2 中心市街地の賑わい創出（達成度：雨）

関連する事業	1-11. ハピリン管理運営事業 1-12. ハピリンステップアップ事業 1-15. 中心市街地活性化推進事業
--------	---

目標	目標種別	目標値	結果
ハピリン入込客数	成果目標	280 万人	268 万人
ハピリン来場者数	成果目標	53 万人	48 万人
歩行者・自転車通行量（中央 1 丁目）	成果目標	40,000 人	35,781 人
ハピリンと近隣商業施設との連携イベントの開催	成果目標	3 件	3 件

### 3 新たなまちの魅力と回遊性の向上（達成度：晴れ）

関連する事業	1-16. 福井城址周辺整備事業		
	1-17. 中心市街地活性化活動促進事業		
目標	目標種別	目標値	結果
福井城址周辺道路整備の推進（道路詳細設計）	活動目標	3 月	3 月
新幹線開業に向けたWi-Fi（公衆無線 LAN）運用の検討	活動目標	3 月	3 月
中心拠点の賑わい事業の検討	活動目標	10 月	10 月

### 4 県都にふさわしい良好な景観形成（達成度：雨）

関連する事業	1-1. 景観推進事業		
	1-2. 景観事務諸経費		
	1-4. 景観支援事業		
	1-5. 民間活力をいかした県都の顔づくり事業		
目標	目標種別	目標値	結果
民間活力による県都にふさわしい景観形成への支援	活動目標	6 件	3 件
自然公園法に基づく越前水仙群生地区の景観誘導	活動目標	1 ゾーン	1 ゾーン
広域景観形成の可能性調査の実施	活動目標	10 月	10 月

### 5 適正な土地利用の推進（達成度：晴れ）

関連する事業	2-3. 土地利用適正化事業		
	2-7. 開発行為許可事務経費		
目標	目標種別	目標値	結果
福井駅周辺及び森田北東部土地区画整理事業区域における用途地域の変更等	活動目標	-※	-※
市街化調整区域の土地利用に関する基準の見直し	活動目標	-※	-※

※ 目標値について具体的な記載はないが、その場合は年度内実施が目標であり、実際に年度内に実施完了している。

6 街路整備の推進（達成度：晴れ）

関連する事業	2-10. 福井駅付近連続立体交差関連事業			
	2-12. 県営街路事業負担金			
	2-13. 都市計画道路整備事業			
目標		目標種別	目標値	結果
都市計画道路整備率		成果目標	83.8%	83.9%
志比口開発線の道路整備延長（累計）		成果目標	220m	230m

7 地域鉄道の利用促進と利便性の向上（達成度：雨）

関連する事業	4-6. 福井鉄道関係協議会等支援事業			
	4-7. えちぜん鉄道活性化連携協議会運営事業			
	4-14. えちぜん鉄道支援事業			
	4-15. 福井鉄道支援事業			
	4-16. 田原町駅活性化事業			
	4-17. えちぜん鉄道高架化支援事業			
目標		目標種別	目標値	結果
えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数		成果目標	576万人	561万人

8 バス路線の維持と地域実情に応じたバス交通サービスの確保（達成度：雨）

関連する事業	4-3. 地域生活交通活性化会議運営事業			
	4-9. 地方バス路線等運行維持事業			
	4-10. 地域バス整備事業			
	4-11. 地域コミュニティバス運行支援事業			
	4-12. 自治会等輸送活動事業			
	4-13. バス待ち環境整備事業			
目標		目標種別	目標値	結果
バス乗車人数		成果目標	302万人	292万人

9 連携中枢都市圏における広域的交通ネットワークの構築と公共交通利用促進（達成度：晴れ）

関連する事業	4-8. 交通活用中心市街地活性化事業			
	4-18. 都市交通戦略策定事業			
目標		目標種別	目標値	結果
二次交通の機能強化のための研究		活動目標	-※	-※

※ 目標値について具体的な記載はないが、その場合は年度内実施が目標であり、実際に年度内に実施完了している。

10 市営駐車場の適正な運営（達成度：雨）

関連する事業	4－8．交通活用中心市街地活性化事業 4－19．駐車場特別会計			
	目標	目標種別	目標値	結果
	大手・大手第2・本町通り地下駐車場の利用台数	成果目標	59.0万台	53.9万台

11 交通安全対策の推進（達成度：晴れ）

関連する事業	5－5．交通安全教育推進事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	体験型交通安全教室回数	活動目標	110回	111回

12 高齢者の交通事故縮減（達成度：晴れ）

関連する事業	5－6．交通安全普及啓発事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	高齢者運転免許証自主返納者数	成果目標	900人	990人

13 北陸新幹線の建設促進（達成度：晴れ）

関連する事業	3－4．北陸新幹線建設促進事業 3－5．北陸新幹線建設整備事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	新幹線福井駅舎との合築に関する協定締結	活動目標	－※	－※

※ 目標値について具体的な記載はないが、その場合は年度内実施が目標であり、実際に年度内に実施完了している。

14 並行在来線開業準備（達成度：晴れ）

関連する事業	3－3．並行在来線開業準備事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	経営計画（案）の策定	活動目標	－※	－※
	利用促進策の検討	活動目標	－※	－※

※ 目標値について具体的な記載はないが、その場合は年度内実施が目標であり、実際に年度内（2月）に実施完了している。

15 自転車の利用促進と利便性の向上（達成度：晴れ）

関連する事業	5－4．自転車利用推進事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	ふくチャリの自転車利用回数	成果目標	6,700回	7,240回

サイクルイベントの開催	活動目標	3回	3回
-------------	------	----	----

16 分散型自転車駐車場整備の推進（達成度：晴れ）

関連する事業	5-3. 駐輪場維持管理事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	再開発事業での自転車駐車場設置の検討	活動目標	3カ所	3カ所

17 統計調査等の分析（達成度：晴れ）

関連する事業	6-4. 地理情報システム整備事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	GISを活用した統計データ分析研修会	活動目標	2回	2回
	新採用職員への統計基礎研修	活動目標	1回	1回
	総務省統計局のオンライン講座を活用した研修の開催	活動目標	3回	3回

18 オープンデータの充実・提供（達成度：晴れ）

関連する事業	6-6. 総合行政情報システム事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	オープンデータ件数	活動目標	110件	111件

19 Access等を活用した業務効率化の推進（達成度：晴れ）

関連する事業	6-6. 総合行政情報システム事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	Access等を活用するための研修会	活動目標	2回	2回
	研修を受けAccess等を作成している職員へのフォローアップ支援	活動目標	10所属	10所属

20 公共工事の品質確保（達成度：晴れ）

関連する事業	2-10. 福井駅付近連続立体交差関連事業			
	目標	目標種別	目標値	結果
	工事監察指摘率	成果目標	0%	0%

各行動目標には個別の事業を関連付けることができたが、予算要求資料上は関連付けがルール化されているわけではない。

#### (4) 部局マネジメント方針の目標について

部局マネジメント方針における目標値の設定と達成状況を見ると未達成となっているのは数値目標のみである。これは、数値以外の目標については、「〇〇〇を実施する」など、活動目標（行動目標ともいうが以下活動目標とする）であることがほとんどである一方で、数値目標の場合は成果目標が多く含まれているためである。ここで、活動目標とは「何を実施するかに対する目標」であり、成果目標とは「求める結果に対する目標」である。

一般的に目標管理は「活動目標」と「成果目標」に分けて考える必要がある。「活動目標」は具体的な行動や事業の遂行状況に関する目標であり、実際に事業を実施する職員、構成員が責任を有していると考えられる一方で、「成果目標」については実施する事業自体の内容や規模に大きく影響される目標であり、実際に事業を遂行する職員、構成員ではなく、企画、計画を作成したより上位の職員の責任となるためである。

また、「活動目標」は毎年の職員行動の目標となるものであり、目標は毎年見直される必要があるが、「成果目標」は、事業の区切毎、総合計画毎など一定の区切りごとに目標が設定されるものであり、目標達成年度までの年はあくまで中間報告となる。

#### 【意見】

都市戦略部の 20 の「行動目標」には全部で 36 の目標が設定されている。そのうち数値で示されているものは 26 であった。また、20 の行動目標のうち「成果目標」が設定されているものが 8 であった。

「部局マネジメント方針 作成要領」には「数値指標は、行動目標の達成度を計るのに適切で、市民にとってわかりやすい成果目標または活動目標を設定してください（できる限り成果目標を設定するのが望ましい）」と記載されており、目標には「活動目標」と「成果目標」があること、またできる限り「成果目標」が望ましいことが明記されている。

出来る限り数値での「成果目標」を設定すべきとしている点について評価できる。都市戦略部においても引き続きできる限り数値での「成果目標」を設定すべきである。なお、福井市としては市民へのわかりやすさを重視し、「成果目標」が望ましいとしているが、「活動目標」と「成果目標」の両方を設定すべきとした方が良いと考える。「活動目標」と「成果目標」はそれぞれに意義があり、代替的なものではないためである。

#### (5) 部局マネジメント方針の達成度

部局マネジメント方針についての達成度は「快晴」、「晴れ」、「くもり」、「雨」の 4 区分に分けられており、一目でわかりやすい。わかりやすさは非常に重要である。一方で、「雨」とされた行動目標の中には目標をかなり下回っているものから概ね達成といってよいものまで多種多様である。また、「くもり」とされている行動目標は都市戦略部にはなかったが、福井市全体でも 1 件とかなり少数である。そのため、事実上「達成」か「未達成」で色分けされていると言ってよく、未達成の場合（「雨」の場合）にどの程度未達成であったかは不明である。

都市戦略部の達成度において雨とされている行動目標は 5 つである。これら 5 つの行動

目標の達成度合いを示すと以下のとおりであり、同じ「雨」でも達成度は 50.0%から 97.3%まで幅広いことがわかる。

2 中心市街地の賑わい創出			
目標	目標値	結果	達成度
ハピリン入込客数	280 万人 (+3 万人)	268 万人 (△9 万人)	95.7%
ハピリン来場者数	53 万人 (+2 万人)	48 万人 (△3 万人)	90.6%
歩行者・自転車通行量（中央 1 丁目）	40,000 人 (+4,710 人)	35,781 人 (+491 人)	89.5%
ハピリンと近隣商業施設との連携イベントの開催	3 件	3 件	達成

4 県都にふさわしい良好な景観形成			
目標	目標値	結果	達成度
民間活力による県都にふさわしい景観形成への支援	6 件	3 件	50.0%
自然公園法に基づく越前水仙群生地区の景観誘導	1 ゾーン	1 ゾーン	達成
広域景観形成の可能性調査の実施	10 月	10 月	達成

7 地域鉄道の利用促進と利便性の向上			
目標	目標値	結果	達成度
えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数	576 万人 (+2 万人)	561 万人 (△13 万人)	97.4%

8 バス路線の維持と地域実情に応じたバス交通サービスの確保			
目標	目標値	結果	達成度
バス乗車人数	302 万人 (増減なし)	292 万人 (△10 万人)	96.7%

10 市営駐車場の適正な運営			
目標	目標値	結果	達成度
大手・大手第 2・本町通り地下駐車場の利用台数	59 万台 (+3.4 万台)	53.9 万台 (△1.7 万台)	91.4%

### 【意見】

達成度の区分について、4区分としてわかりやすさを重視している。わかりやすさは非常に重要である。一方で、「雨」とされた行動目標の中には目標をかなり下回っているものから概ね達成といってよいものまで多種多様である。また、「くもり」とされている行動目標は都市戦略部にはなかったが、福井市全体でも1件とかなり少数である。そのため、事実上「達成」か「未達成」で色分けされており、未達成の場合にどの程度未達成であったかは不明である。

市民へのわかりやすさの考え方はいろいろあるが、一目でわかるという意味では今の評価方法は優れている。大きく未達成となってしまった場合に、「大雨」や「嵐」のような表現があっても良いし、ぎりぎり未達成のものを「少雨」とすることも意味では分かりやすいかもしれない。

「くもり」の定義は「設定期限内未達成でしたが、年度内に達成したものです」となっている。この場合、目標達成時点が年度内の「いつか」が重要となる。都市戦略部の部局マネジメント方針を見ると、「いつまでに」を明記していない「活動目標」がいくつもある。「明記していないものはすべて年度末まで」とのことであるが、市民へのわかりやすさを考えればやはり明記すべきである。

なお、ほとんどの行動目標の目標達成時期が年度末という事になっている。これは、年度の目標として具体的な期限を設けているとはいえない。「くもり」を評価基準として設けている以上、「〇〇する」という目標の場合は期限を具体的に設けるべきである。

## 2. 事業毎の数値目標の設定

### (1) 経常経費と政策経費の違い

予算編成時において、政策経費の場合は「予算要求概要書（様式7）」へ「事業目的、事業実施の背景」、「事業の対象」とともに「事業の結果、成果」を記載することとなっている。しかし、「事業の結果、成果」を記載していても事業の数値目標（目標値）を設定していない事業が多数あった。ここで、「予算要求概要書（様式7）」とは予算編成方針に基づき各課が財政課に提出する書類である。

### (2) 監査対象とした事業における「予算要求概要書（様式7）」の成果と目標値（目標とする指標）の設定状況

#### ①都市整備課

事業 No	事業名	種類	成果	目標値
1-1	景観推進事業	政策	特定景観計画区域指定数を事業効果として記載	無
1-2	景観事務諸経費	経常	—	無

1-3	彫刻維持管理事業	経常	—	無
1-4	景観支援事業	政策	百景団体数を事業効果として記載	無
1-5	民間活力をいかした京都の顔づくり事業	政策	補助件数と金額を事業効果として記載	有
1-6	都市整備室事務諸経費	経常	—	無
1-7	福井まちなか地区都市再生整備計画推進事業	政策	数値としての成果の記載はない。福井城址周辺の整備、商工や観光といった回遊性の向上を成果として記載	無
1-8	市街地再開発推進事業	経常	—	無
1-9	中心市街地まちづくり推進事業	政策	数値としての成果の記載はない。アドバイザー派遣を実施した協議会の事業化への動きを成果として記載	無
1-10	市街地再開発事業等支援事業	政策	数値としての成果の記載はない。優良建築物等整備事業補助の実施と事業の進捗を成果として記載	有
1-11	ハピリン管理運営事業	経常	—	有
1-12	ハピリンステップアップ事業	政策	ハピリン入込客数、バックステージツアー参加者数、プロジェクトマップ来場者数を事業効果として記載	有
1-13	高架下利活用事業	経常	—	無
1-14	高架下公衆トイレ管理事業	経常	—	無
1-15	中心市街地活性化推進事業	政策	歩行者・自転車通行量を事業効果として記載	有
1-16	福井城址周辺整備事業	政策	数値としての成果の記載はない。歩行者の増加、を事業成果として記載	無
1-17	中心市街地活性化活動促進事業	政策	数値としての成果の記載はない。中心拠点への来街、交流人口の増加を事業成果として記載	無

②都市計画課

事業 No	事業名	種類	成果	目標値
2-1	都市計画企画事務諸経費	経常	—	無
2-2	都市計画決定事務諸経費	経常	—	無
2-3	土地利用適正化事業	政策	数値としての成果の記載はない。まちづくりに関するルール(素案)の作成実績を事業効果として記載	無
2-4	都市計画市民参画推進事業	政策	地区の組織認定数、まちづくり計画認定数を事業効果として記載	無
2-5	都市計画情報発信事業	経常	—	無
2-6	都市防災推進事業	政策	令和元年度に開始した事業であるため、「予算要求概要書(様式7)」における事業効果の記載はない	有
2-7	開発行為許可事務経費	経常	—	無
2-8	土地利用規制対策事業	経常	—	無
2-9	福井駅付近連続立体交差事業負担金	政策	連続立体交差事業の進捗率を事業効果として記載	無
2-10	福井駅付近連続立体交差関連事業	政策	用地取得の進捗率を事業効果として記載	有
2-11	(都)福井縦貫線等代替用地管理費	経常	—	無
2-12	県営街路事業負担金	政策	工事が完成した道路の距離と事業進捗率を事業効果として記載	無
2-13	都市計画道路整備事業	政策	都市計画道路整備率を事業効果として記載	有

③新幹線整備課

事業 No	事業名	種類	成果	目標値
3-1	福井駅周辺道路管理費	政策	数値としての成果の記載はない。公共交通機関の利用者増加、東西交通の利便性向上を事業成果として記載	無

3-2	福井駅前広場管理費	政策	数値としての成果の記載はない。公共交通機関の利用者増加を事業成果として記載	無
3-3	並行在来線開業準備事業	政策	数値としての成果の記載はない。経営・運行に関する基本方針の策定を事業成果として記載	無
3-4	北陸新幹線建設促進事業	政策	数値としての成果の記載はない。東京・大阪などへのアクセス時間の短縮、県都としてのまちづくりの実現などを事業成果として記載	無
3-5	北陸新幹線建設整備事業	政策	数値としての成果の記載はない。早期の用地取得・工事着手、沿線住民の協力体制構築などを事業成果として記載	無

#### ④地域交通課

事業 No	事業名	種類	成果	目標値
4-1	ファシリティマネジメント推進事業	政策	配当替えによる事業のため予算要求概要書の作成なし	無
4-2	福井駅周辺道路管理費	政策	数値としての成果の記載はない。福井駅周辺のバリアフリー化、公共交通機関の利用者増、東西交通の利便性向上を成果として記載	無
4-3	地域生活交通活性化会議運営事業	政策	会議開催数を事業効果として記載	無
4-4	公共交通機関活性化事業	経常	—	無
4-5	福井市鉄道駅対策協議会負担金	政策	JR 森田駅利用者数を事業効果として記載	有
4-6	福井鉄道関係協議会等支援事業	政策	福武線年間利用者数を事業効果として記載	有
4-7	えちぜん鉄道活性化連携協議会運営事業	政策	えちぜん鉄道年間利用者数を事業効果として記載	有

4-8	交通活用中心市街地活性化事業	政策	大手、大手第2、本町通り地下駐車場利用台数を事業効果として記載	有
4-9	地方バス路線等運行維持事業	政策	福井駅発着のバスにおける1人当たりの年間利用回数を事業効果として記載	有
4-10	地域バス整備事業	政策	地域人口1人当たり利用回数を事業効果として記載	有
4-11	地域コミュニティバス運行支援事業	政策	地域コミュニティバス運行地域数を事業効果として記載	有
4-12	自治会等輸送活動事業	政策	年間利用者数、運行回数、1便当たり利用者数を事業効果として記載	無
4-13	バス待ち環境整備事業	経常	—	無
		政策	バス停新設及び更新箇所を事業効果として記載	無
4-14	えちぜん鉄道支援事業	経常	—	無
		政策	えちぜん鉄道年間利用者数を事業効果として記載	有
4-15	福井鉄道支援事業	政策	福武線年間利用者数を事業効果として記載	有
4-16	田原町駅活性化事業	経常	—	無
		政策	鉄道利用者数を事業効果として記載	有
4-17	えちぜん鉄道高架化支援事業	政策	連続立体交差事業の進捗率を事業効果として記載	有
4-18	福井市都市交通戦略策定事業	政策	予算流用による事業のため予算要求概要書の作成なし	無
4-19	駐車場特別会計	政策	大手、大手第2、本町通り地下駐車場利用台数を事業効果として記載	有

⑤自転車利用推進課

事業 No	事業名	種類	成果	目標値
5-1	総合交通事務諸経費	経常	—	無

5-2	放置自転車対策事業	経常	—	無
5-3	駐輪場維持管理事業	経常	—	無
5-4	自転車利用推進事業	政策	まちなかレンタサイクルの自転車利用回数を事業効果として記載	有
5-5	交通安全教育推進事業	経常	—	無
5-6	交通安全普及啓発事業	政策	高齢者運転免許返納数を事業効果として記載	有
5-7	総合交通事務諸経費	経常	—	無

⑥情報統計課

事業 No	事業名	種類	成果	目標値
6-1	情報システム事業	経常	—	無
6-2	情報機器整備事業	経常	—	無
6-3	庁内LAN伝送路整備事業	経常	—	無
6-4	地理情報システム整備事業	政策	年間システム利用者数を事業効果として記載	無
6-5	電子自治体推進事業	経常	—	無
		政策	数値としての成果の記載はない。市民の利便性向上や行政運営の簡素化及び効率化を事業効果として記載	無
6-6	総合行政情報システム事業	政策	数値としての成果の記載はない。事務の効率化や行政サービスの向上を事業効果として記載	無
6-7	地域情報地域基盤整備事業	経常	—	無
6-8	産学官連携研究事業	経常	—	無
6-9	調査員確保事業	経常	—	有
6-10	調査員組織化支援事業	経常	—	無
6-11	経済産業省所管調査事業	経常	—	無
6-12	総務省所管調査事業	政策	数値としての効果の記載はない。効率的かつ円滑な基幹統計調査事務の実施や調査対象の把握を事業効果として記載	無

6-13	その他統計調査事業	経常	—	無
6-14	マイナンバーカード活用消費活性化事業	政策	数値としての効果の記載はない。マイナンバーカードを活用した消費活性化事業の促進を事業効果として記載	無

### (3) 数値目標の設定状況

都市戦略部の各課における政策経費での数値目標の設定状況は以下のとおりである。

課	検証対象とした事業数 (政策経費)	数値目標	
		設定数	設定割合
都市整備課	10	4	40.0%
都市計画課	7	3	42.9%
新幹線整備課	5	—	0.0%
地域交通課 ※	18	12	66.7%
自転車利用推進課	2	2	100.0%
情報統計課	5	—	0.0%
合計	47	21	44.7%

※ 地域交通課における検証対象事業数は 19 事業。うち政策経費のみが 15 事業と経常経費のみが 1 事業、政策経費と経常経費両方ある事業が 3 事業ある。

#### 【意見】

福井市などの地方公共団体が提供する公共財・サービスは、民間企業のように成果を数字で示せないものも多く、政策経費であっても、数値目標を設定することが困難な事業も当然多くある。しかし、「事業の結果、成果」を明確に示せるものはやはり数値目標である。福井市民への説明責任を果たすためには、数値目標を示すことがどうしても困難である事業以外はすべて数値目標を設定することが望ましい。

また、「1. 部局マネジメント方針」でも記載したとおり、数値目標においても活動目標と成果目標の 2 つを設定すべきである。

### 3. 計画と実績（成果）の管理

福井市では「市の特性に応じた目指すべき将来像及び、将来像を実現するための基本的な方針を明らかにし、市民、関係団体、行政などが協力して福井市のまちづくりを進めるための指針」として福井市総合計画を策定しており、現在は平成 29 年度からの 5 年間の対象とした「第七次福井市総合計画」（以下「総合計画」）が策定されている。

包括外部監査では「第2章 監査対象の概要」で記載したとおり、「総合計画」の具体的な事業計画である「実施計画」に記載された「主要な事業」と今回監査対象とした各事業との関連付けを行うとともに、各事業が「総合計画」のどの政策取組に該当するかについて検討を行った。その結果、すべての事業において関連付けができた。

**【意見】**

「第七次福井市総合計画」（以下「総合計画」）や「総合計画に示された体系に基づき実施する具体的な事業計画」である「実施計画」は市政運営の基本であり、民間で言えば中期事業計画である。「総合計画」を達成するために各事業が実施され、各事業の目的や目標は「総合計画」及び「実施計画」に記載された目標と合致してなければならない。

都市戦略部において実施されている事業は「歳出予算要求書（事業説明）（様式6）」において実施計画区分が記載されており、「総合計画」及び「実施計画」の方針と合致している。一方で年度ごとの目標管理は「部局マネジメント」において行われているが、その「部局マネジメント」と「総合計画」及び「実施計画」との関連は見えにくいものとなっている。

「総合計画」及び「実施計画」（中期計画）→「部局マネジメント」（年度計画）→「事業」と関連が見えるとわかりやすい。

なお、「歳出予算要求書（事業説明）（様式6）」において、実施計画区分は記載されており、各事業と「総合計画」及び「実施計画」については明確に関連付けられている。

#### 4. 予算がない事業の管理

地方公共団体における事業の管理は予算管理を通じて行われている。予算管理は事業における歳入と歳出の金額を管理することにより行われている。そのため、予算がついていない事業、いわゆる「ゼロ予算」の事業については実際には事業が行われているにもかかわらず、予算の執行管理としては対象外となってしまう。今回の包括外部監査においても、歳出がある事業から監査対象となる事業を抽出しているため、ゼロ予算の事業については検討の対象としてない。

**【意見】**

「ゼロ予算」の事業であっても、予算要求される事業であれば「歳出予算要求書（事業説明書）（様式6）」や「予算要求概要書（様式7）」は作成されており、事業の成果や効果は記載することとなっている。「ゼロ予算」の事業であっても人的コストは発生しており、管理の対象とすべきである。予算要求しない事業であっても、予算要求される事業に準じて管理することが適当である。

なお、事業ごとの人的コストを集計する仕組みがさらに良いが、そのためには職員の勤怠管理システムを大幅に見直す必要もあり、現時点では困難である。

## 5. 財政再建と必要な歳出

福井市では「平成 29 年度決算において一般会計の実質収支が赤字となったことを受け、収支均衡した財政構造の確立と、計画的な財政調整基金の積立を目指すための具体的取組をまとめた福井市財政再建計画を策定（福井市 HP より）」している。

平成 30 年度から令和 5 年度を対象に様々な取り組みを実施しており、福井市財政再建計画によると令和元年度の具体的取り組みとして「事業費の縮減」、「総人件費の縮減」、「施設管理経費の縮減」、「投資的経費の抑制」、「公債費の縮減」、「歳入の確保」の実施を計画している。そのため、多くの事業で予算が減額となっている。

都市戦略部での予算要求額と査定額を比較すると以下のようなになる。

予算要求額と査定額

(単位：千円)

事業 No	事業名	A	B	B-A
		予算 要求額	査定額 ※1	差額
1-1	景観推進事業	1,126	871	△255
1-2	景観事務諸経費	192	136	△56
1-3	彫刻維持管理事業	185	0	△185
1-4	景観支援事業	600	400	△200
1-5	民間活力をいかした県都の顔づくり事業	10,589	10,573	△16
1-6	都市整備室事務諸経費	806	666	△140
1-7	福井まちなか地区都市再生整備計画推進事業	99	86	△13
1-8	市街地再開発推進事業	80	80	—
1-9	中心市街地まちづくり推進事業	360	300	△60
1-10	市街地再開発事業等支援事業	2,855,986	2,711,619	△144,367
1-11	ハピリン管理運営事業	150,642	150,414	△228
1-12	ハピリンステップアップ事業	1,943	1,724	△219
1-13	高架下利活用事業	19,589	19,566	△23
1-14	高架下公衆トイレ管理事業	5,982	5,425	△557
1-15	中心市街地活性化推進事業	1,300	1,100	△200
1-16	福井城址周辺整備事業	10,741	10,542	△199
1-17	中心市街地活性化活動促進事業	994	800	△194
都市整備課合計		3,061,214	2,914,302	△146,912
2-1	都市計画企画事務諸経費	1,931	1,774	△157
2-2	都市計画決定事務諸経費	181	181	—
2-3	土地利用適正化事業	2,669	2,300	△369
2-4	都市計画市民参画推進事業	229	69	△160

2-5	都市計画情報発信事業	288	288	-
2-6	都市防災推進事業	1,900	4,000	2,100
2-7	開発行為許可事務経費	450	432	△18
2-8	土地利用規制対策事業	68	68	-
2-9	福井駅付近連続立体交差事業負担金	3,574	3,574	-
2-10	福井駅付近連続立体交差関連事業	199,266	188,440	△10,826
2-11	(都) 福井縦貫線等代替用地管理費	130	128	△2
2-12	県営街路事業負担金	123,450	42,918	△80,532
2-13	都市計画道路整備事業	19,100	16,900	△2,200
都市計画課合計		353,236	261,072	△92,164
3-1	福井駅周辺道路管理費	580	178	△402
3-2	福井駅前広場管理費	20,019	12,827	△7,192
3-3	並行在来線開業準備事業	1,129	941	△188
3-4	北陸新幹線建設促進事業(経常経費)	1,264	1,015	△249
	北陸新幹線建設促進事業(政策経費)	948	181	△767
3-5	北陸新幹線建設整備事業 ※2	-	-	-
新幹線整備課合計		23,940	15,142	△8,798
4-1	ファシリティマネジメント推進事業 ※3	-	-	-
4-2	福井駅周辺道路管理費	2,396	2,193	△203
4-3	地域生活交通活性化会議運営事業	189	182	△7
4-4	公共交通機関活性化事業	685	685	-
4-5	福井市鉄道駅対策協議会負担金	2,595	2,595	-
4-6	福井鉄道関係協議会等支援事業	910	910	-
4-7	えちぜん鉄道活性化連携協議会運営事業	100	100	-
4-8	交通活用中心市街地活性化事業	3,062	3,262	200
4-9	地方バス路線等運行維持事業	226,627	226,627	-
4-10	地域バス整備事業	48,945	46,576	△2,369
4-11	地域コミュニティバス運行支援事業	35,283	35,283	-
4-12	自治会等輸送活動事業	307	307	-
4-13	バス待ち環境整備事業(経常経費)	47	47	-
	バス待ち環境整備事業(政策経費)	97	63	△34
4-14	えちぜん鉄道支援事業(経常経費)	1,000	1,000	-
	えちぜん鉄道支援事業(政策経費)	58,049	58,000	△49
4-15	福井鉄道支援事業	58,350	58,350	-
4-16	田原町駅活性化事業(経常経費)	157	133	△24
	田原町駅活性化事業(政策経費)	2,000	1,500	△500

4-17	えちぜん鉄道高架化支援事業	217	217	-
4-18	福井市都市交通戦略策定事業 ※4	-	-	-
4-19 ※5	大手駐車場管理事業	1,232	854	△378
	駐車場一般管理事業	4,404	4,404	-
	大手第2駐車場管理事業	26,912	26,704	△208
	本町通り地下駐車場管理事業	24,743	10,261	△14,482
	駐車場事業基金積立金	24	24	-
	元金償還金	12,880	12,880	-
	利子償還金	767	773	△6
	予備費	100	100	-
地域交通課合計		512,078	494,030	△18,060
5-1	総合交通事務諸経費	218	202	△16
5-2	放置自転車対策事業	7,925	6,497	△1,428
5-3	駐輪場維持管理事業	16,034	15,938	△96
5-4	自転車利用推進事業	7,109	3,000	△4,109
5-5	交通安全教育推進事業	673	610	△63
5-6	交通安全普及啓発事業（経常経費）	19,756	19,636	△120
	交通安全普及啓発事業（政策経費）	2,141	1,672	△469
5-7	総合交通事務諸経費	4,918	4,918	-
自転車利用推進課合計		58,774	52,473	△6,301
6-1	情報システム事業	2,576	1,961	△615
6-2	情報機器整備事業	38,057	44,307	6,250
6-3	庁内LAN伝送路整備事業	13,847	13,847	-
6-4	地理情報システム整備事業	40,779	4,721	△36,058
6-5	電子自治体推進事業（経常経費）	1,528	1,526	△2
	電子自治体推進事業（政策経費）	100	100	-
6-6	総合行政情報システム事業	750,485	745,830	△4,655
6-7	地域情報地域基盤整備事業	9,000	5,412	△3,588
6-8	産学官連携研究事業	46	46	-
6-9	調査員確保事業	147	147	-
6-10	調査員組織化支援事業	200	200	-
6-11	経済産業省所管調査事業	2,212	2,212	-
6-12	総務省所管調査事業	19,320	19,320	-
6-13	その他統計調査事業	106	106	-
6-14	マイナンバーカード活用消費活性化事業	2,273	2,273	-
情報統計課合計		880,676	842,008	△38,668

- ※1 当初予算要求に対する査定額である。
- ※2 「3-5. 北陸新幹線建設整備事業」については、国の事業方針により福井市の予算管理の範疇を超える影響が及ぶと考えられるため除いている。
- ※3 配当替えによる事業のため予算要求概要書の作成はない。
- ※4 予算流用による事業のため予算要求概要書の作成はない。
- ※5 駐車場特別会計による。

歳出削減でもっとも容易なのは、福井市がコントロールできる歳出である。代表的なものをいえば「旅費」(=出張しない)である。

**【意見】**

財政再建は最重要課題である。また、各部局・各課の予算要求どおりにすべて認めてしまえば財源は当然不足する。予算要求どおりとならないことはある意味で当然である。

一方、出張経費などの旅費は出張を減らせば容易に削減できるため、削減の対象としやすい。また、コロナ禍の中で、リモートでの会議なども増加し以前ほど出張の必要がなくなっていることもある。しかし、新しい知識や知見は福井市役所の中にも得られないことが多々ある。他市の状況や先進的な取り組みなど、実際に行かなければ学べないものも当然あるはずである。また、実際に他の組織の人間と交流することで非公式な人的ネットワークが得られることも考えられる。

歳出削減は容易なものから始めることは重要であるが、長期的な視点から必要なものまで削減しないよう留意する必要がある。

## 6. 前金払方式における履行確認（検収）

歳出の一部支出について、「前金払」方式となっているものがある。この点、前金払の支出方式による場合、出納課における「会計事務の手引き」において「履行確認前なので検収印は不要。」としつつも、福井市財務会計規則第70条の3において「支出命令権者は、前金払をした経費について履行の確認をしなければならない。」と履行確認（検収）を行うべき旨を定めている。

**【意見】**

通常払の支出区分と異なり、前金払の支出区分においては、支出前の検収を行うことができず、役務提供後の検収は各所管課の下で行われることとなり出納課の決裁を伴わないことから失念するリスクが生じる。なお、検収（履行確認）はその役務の提供が完了することを確認することによって事業の進捗、成果を測定するために重要な行為である。前金払においても、規則どおり検収を実施することは原則必要であると考えられる。但し、前金払には借地料、保険料など、履行確認が実質的に不要（又は困難）な取引も含まれており、その履行確認手続については取引内容に応じて限定的に検収手続を簡素化する等、再度検討する必要がある。

## 7. 入手する請求書への押印について

福井市では入手する請求書への押印について、福井市財務会計規則第 56 条で以下のよう  
に定められている。

第 3 項 請求書には、債権者の記名押印がなければならない。この場合において請求者  
が代表者又は代理人名義のものであるときは、その資格権限の表示があり、かつ職務上  
にかかるものについては職印、その他のものについては認印の押印がなければならない。  
第 4 項 法人又は組合その他の団体にあつては、前項の押印のほか、その団体の印鑑の  
押印がなければならない。ただし、団体印のもたないものにあつてはこの限りでない。

### 【意見】

請求書への押印について、法人や団体の角印と代表者印・認め印の 2 種類が必要とな  
っており、実際に可能な限りそのように運用されている。すべてのケースにおいて本当に  
必要か検討が必要である。相手先が、福井市の入札登録業者であれば、請求に用いる登録  
印鑑が定められているため、それがあればよいとすることも考えられる。本当に必要な押  
印か今一度検討が必要である。

なお、実体のない請求に対して支払ってしまう事の防止という観点の場合、請求書への  
押印は非常に形式的であり、支払口座の登録・確認がより重要である。

## 8. 検証対象とした都市戦略部の事業に対する指摘事項及び意見について

### (1) 都市整備課

事業 No	事業名	指摘事項	意見	計
1-1	景観推進事業	-	1	1
1-2	景観事務諸経費	-	2	2
1-3	彫刻維持管理事業	-	1	1
1-4	景観支援事業	-	2	2
1-5	民間活力をいかした県都の顔づくり事業	1	1	2
1-6	都市整備室事務諸経費	-	-	-
1-7	福井まちなか地区都市再生整備計画推進事 業	-	2	2
1-8	市街地再開発推進事業	-	-	-
1-9	中心市街地まちづくり推進事業	-	1	1
1-10	市街地再開発事業等支援事業	-	1	1
1-11	ハピリン管理運営事業	-	1	1
1-12	ハピリンステップアップ事業	-	1	1

1-13	高架下利活用事業	-	3	3
1-14	高架下公衆トイレ管理事業	-	1	1
1-15	中心市街地活性化推進事業	-	3	3
1-16	福井城址周辺整備事業	-	1	1
1-17	中心市街地活性化活動促進事業	-	1	1
都市整備課合計		1	22	23

(2) 都市計画課

事業 No	事業名	指摘事項	意見	計
2-1	都市計画企画事務諸経費	-	-	-
2-2	都市計画決定事務諸経費	-	-	-
2-3	土地利用適正化事業	-	1	1
2-4	都市計画市民参画推進事業	-	1	1
2-5	都市計画情報発信事業	-	-	-
2-6	都市防災推進事業	-	1	1
2-7	開発行為許可事務経費	-	-	-
2-8	土地利用規制対策事業	-	-	-
2-9	福井駅付近連続立体交差事業負担金	-	-	-
2-10	福井駅付近連続立体交差関連事業	-	2	2
2-11	(都) 福井縦貫線等代替用地管理費	-	-	-
2-12	県営街路事業負担金	-	-	-
2-13	都市計画道路整備事業	-	1	1
都市計画課合計		-	6	6

(3) 新幹線整備課

事業 No	事業名	指摘事項	意見	計
3-1	福井駅周辺道路管理費	-	-	-
3-2	福井駅前広場管理費	-	1	1
3-3	並行在来線開業準備事業	-	-	-
3-4	北陸新幹線建設促進事業	-	-	-
3-5	北陸新幹線建設整備事業	-	-	-
新幹線整備課合計		-	1	1

(4) 地域交通課

事業 No	事業名	指摘事項	意見	計
4-1	ファシリティマネジメント推進事業	-	-	-

4-2	福井駅周辺道路管理費	-	2	2
4-3	地域生活交通活性化会議運営事業	-	-	-
4-4	公共交通機関活性化事業	-	1	1
4-5	福井市鉄道駅対策協議会負担金	-	3	3
4-6	福井鉄道関係協議会等支援事業	-	2	2
4-7	えちぜん鉄道活性化連携協議会運営事業	-	2	2
4-8	交通活用中心市街地活性化事業	-	1	1
4-9	地方バス路線等運行維持事業	-	3	3
4-10	地域バス整備事業	-	3	3
4-11	地域コミュニティバス運行支援事業	-	3	3
4-12	自治会等輸送活動事業	-	3	3
4-13	バス待ち環境整備事業	-	1	1
4-14	えちぜん鉄道支援事業	1	-	1
4-15	福井鉄道支援事業	-	-	-
4-16	田原町駅活性化事業	-	3	3
4-17	えちぜん鉄道高架化支援事業	-	-	-
4-18	福井市都市交通戦略策定事業	-	-	-
4-19	駐車場特別会計	-	-	-
地域交通課合計		1	27	28

(5) 自転車利用推進課

事業 No	事業名	指摘事項	意見	計
5-1	総合交通事務諸経費	-	1	1
5-2	放置自転車対策事業	-	2	2
5-3	駐輪場維持管理事業	-	2	2
5-4	自転車利用推進事業	-	1	1
5-5	交通安全教育推進事業	-	2	2
5-6	交通安全普及啓発事業	-	1	1
5-7	総合交通事務諸経費	-	1	1
自転車利用推進課合計		-	10	10

(6) 情報統計課

事業 No	事業名	指摘事項	意見	計
6-1	情報システム事業	-	-	-
6-2	情報機器整備事業	-	-	-
6-3	庁内LAN伝送路整備事業	-	-	-

6-4	地理情報システム整備事業	-	1	1
6-5	電子自治体推進事業	-	1	1
6-6	総合行政情報システム事業	-	-	-
6-7	地域情報通信基盤整備事業	-	1	1
6-8	産学官連携研究事業	-	-	-
6-9	調査員確保事業	-	1	1
6-10	調査員組織化支援事業	-	-	-
6-11	経済産業省所管調査事業	-	-	-
6-12	総務省所管調査事業	-	-	-
6-13	その他統計調査事業	-	-	-
6-14	マイナンバーカード活用消費活性化事業	-	-	-
情報統計課合計		-	4	4